



2022年6月

No. 329号

治安維持法国際
同盟島根県本部

〒693-0033

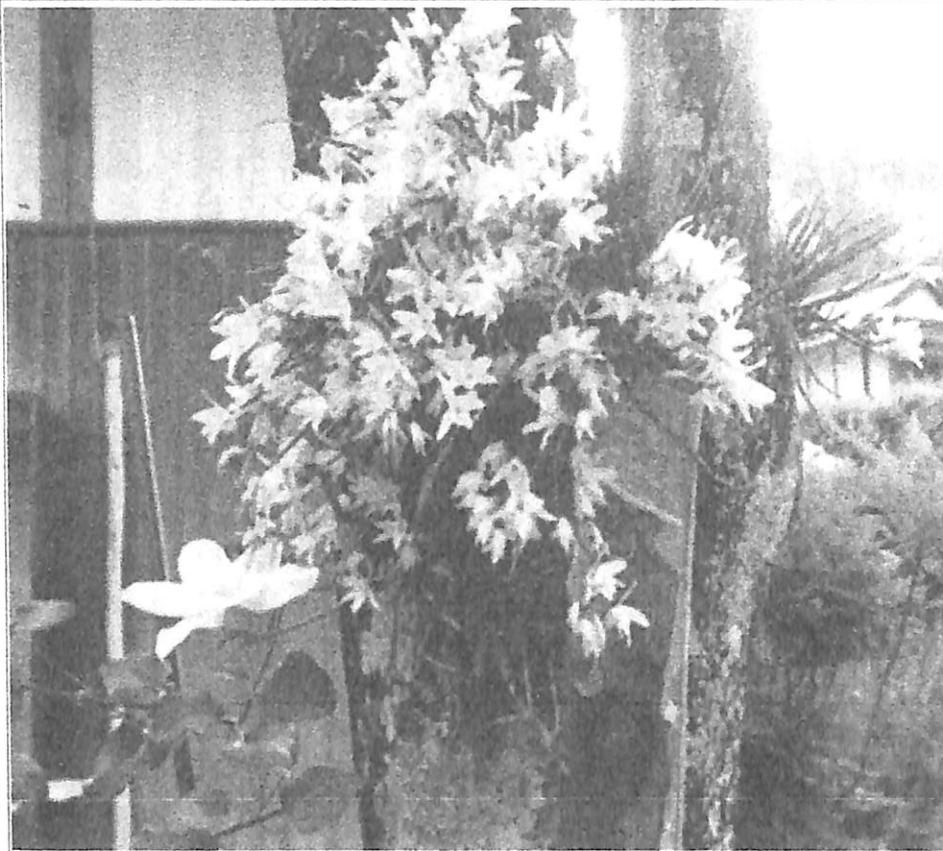
出雲市知井宮町

750-2

小玉信恵

☎・Fax

0853-23-3829



署名終了にあたって

県同盟 会長 佐々木忠且

半年にわたる同盟の署名の取り組み、ご苦勞様でした。結果は2107筆でした。目標には届いていません。

しかしコロナ等の悪条件の中、中国地方の近県と比較しても島根は「踏みこたえた」数字と思います。

至らなかつた面だけで総括することだけでは来年に繋がりません。お互いにねぎらいながら次に向かっていきましょう。

今年度の県の総会のご案内

8月27日(土曜日)午後 1時半
会場・共産党中部地区委員会3階

(人数制限は検討中です。)

↑上の写真は、出雲市殿森地区のある家庭の
玄関先のセッコク「取らないでね」との立札あり

書名の取り組み

出書部

出書部では書名の600筆と近年では一番多かった成果となりました。これは例年以上に役員を組んで団体わりを1ヶ月から行った結果と想います。

ただ、これからのいよを考慮する、もっと丁寧な訪問すれば、この書名は増えたのでは、と、来年は向けての反省点もあります。「映画・ひまわり」の上映運動をとおして、今後繋がる人脈も作り来年は800筆を目指したいと思えます。(談・小玉)

奥田聖子部

奥田聖子部では今までの500筆から、初めて800筆を超えることができました。町議の田食さんが、他の書名も含む500筆程度集められました。

私も例年より身近なひとのみでしたが、今年は赤旗読者や生協の役員会などで初めて広げることができました。

来年は100筆を最初から目標としていけたら、・・・と思っています。(談・山根)

短歌

小玉信恵

スカートの ひたを畳んで その上は
布団を敷いて 寝た十五の口々よ

戦争は 千書あつて 一利なし

「く戦争はあつて」 入城健

宇那手産 あしたは入りの プレンド茶

土瓶に沸かし ポットに注ぐ

(出書部宇那手・・稗原の奥の農村部)



母に送るカーネーション 東京後藤勝彦氏提供

【短歌】 故・加藤高昭氏

アメリカの 空襲まで飛ぶ ミサイルの

軌道は死霊の いく展がる

「濠洲戦争の頃詠まれたか。ウクライナへのロシアの飛行
氏が存命なら何を詠まれたか。」

人去りて 子に生まれぬ世に

禮道のみつくる 不条理を言い尋ねる

ポツクリ寺に 説法の 長きを言いついて

寒々とせる 葉を辞したり

課題を突破する兆しも (今年の益田の書名)

益田・鹿足支部 支部長 城市 昇

今年の益田の国会論議書名の取り組みでは、いろんな出来事に遭遇しました。一言一言は艱難辛苦を乗り越えた年でした。近年協力してもらっていた益田市職員労働組合が、『市民と野党の新しい共闘』の動きに対して『非自民非共産』とごう『連合』傘下の姿勢をあらわにして、書名拒否の事態が生まれま

した。しかし一方、吉賀町職員労働組合は今年も123人から書名を集めて下さいました。

また、津和野町の竹内先生が来訪され、『なんとかやつと0筆集まりました』との来訪を受けました。そこには威張った素振りなどは微塵もありません。誠実、謙虚、真剣、真面目さが浮き彫りの姿に感銘を受けました。

今年も宗教者との対話・協力・共同はありました。

最も積極的だったのは浄土真宗東本願寺大谷派の専龍寺・前田賢龍先生でした。なせ先生とお呼びするのかと言いますと、桂正寺の岡崎正興住職からプレゼントしていただいた『親鸞とマルクス主義』に、前田賢龍住職の論文が2か所引用されているからです。前田賢龍先生は親鸞研究の第一人者であることが初めて分かりました。今年も10人の書名を集められました。協力して下さったお寺さんは7カ寺でしたが、しかし、専龍寺の前田賢龍先生にお任せしてお寺さん9カ寺は締め切り間に合わなくて300筆程度で終わりました。

ただ今年には会員の奮闘が目立ちました。先述の竹内志津子先生を筆頭に、六日市の山本繁子さん、益田の田原壽夫、田中幾太郎先生、『荷馬車輓の娘の手記』で『婦人公論』でデビューした杉内マチさんの姪・荒木保子さんなどの活躍がありました。最終的には607人の書名数に終わりました。

わけても、吉賀町が昨年ひきつづき人口比3%を突破したことは特筆に値します。そして支部としても長年にわたり人口比1%維持しているJAMも誇ります。わびやかな教訓を土産に第40回全国大会に参加してきます。

【映画ひまわり】の出雲・自主上映へ

ロシアによるウクライナへの侵略戦争を受けて、松江での上映がマスコミにも取り上げられ注目されたことに刺激を受け、出雲でも自主上映に取り組めないか・との話が出、5月13日に同盟の出雲の会員有志7名で話し合いを持ち、5月23日に実行委員会の立ち上げを行い、6月8日には第一回実行委員会を開きました。

そこで、代表に小村さん、事務局長に小玉さん、また事務局体制の確立などが決まりました。また、参院選のあと7月20日から本格的に取り組みを強めることとなりました。

立ち上げの会の中で、平日でなく土日や祝日で一人でも多く（現役世代が）参加できるように計画して欲しい・との希望が出され、11月23日（水曜だが、勤労感謝の日）に朱鷺（とき）会館で開催することとしました。

実行委員会では、団体だけでなく「呼びかけ人」を40〜50名作ることも重視しようと言われています。そして、この取り組みを土台にして、来年は伊藤千代子の生涯を描いた「映画・わが青春つぎととも」の上映に取り組もうと考えています。



初夏を彩るオオカメノキの花 松江市安達友紀氏提供